

五中だより 鳳



第9号

令和6年11月1日
文責：教頭 今井 拓也

学校教育目/標人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒
基本目標/①心の豊かな生徒 ②自ら考え、実践する生徒
③健康で、たくましい生徒
生活の3重点/「あいさつ」「無言清掃」「時間を守る」

上田市立第五中学校 TEL 22-3076
学校 HP <http://www.school.umic.jp/ueda5/>
〒386-0003 上田市上野441



PC・スマホ用 QR

令和6年度後期の学校づくりに向けて —前期学校評価結果のおしらせ—

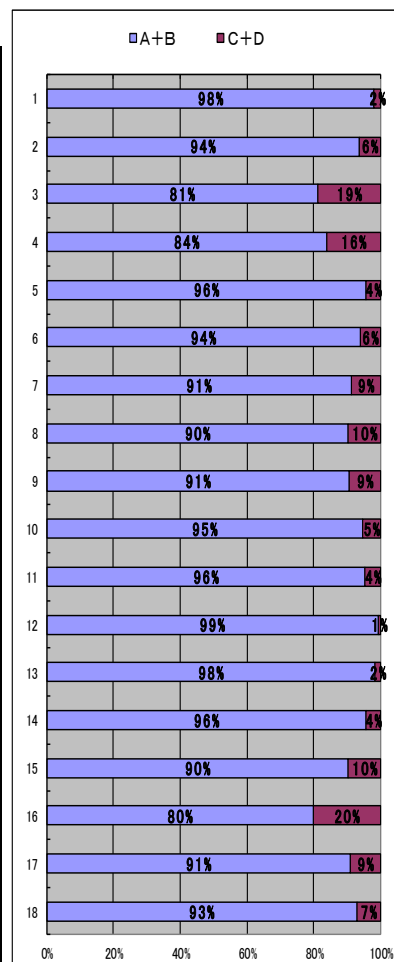
<令和6年度前期の学校評価の集計ができましたので、次の5点に絞ってご報告いたします。>

☆詳細は、下記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価 → 教員の「わかりやすい授業」を向上させることを第一としながらも、学んだことを定着させるための家庭学習の大切さを伝えながら、学習に向かう姿勢作りをご家庭とともにつくりまします。そして、主体的に学習に取り組む学習習慣の定着をめざし工夫を続けていきます。
 - 2 生徒の生活自己評価 → 安心・安全で楽しい学校生活を維持していくために、“生活の3重点”を意識した生活づくりに努めます。また、担任を中心に全職員が生徒に向き合い、生徒の不安や心配事を聞き取って支援にあたります。
 - 3 生徒の授業評価 → じっくり自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場面を増やし、思考力・判断力・表現力の育成をはかります。
 - 4 保護者の学校評価 → ご家庭での心配事や継続した支援については、きめ細やかな連絡を心がけます。授業に関しては、今後も一時間の授業でつける力を明確にし、分かり易い授業を目指すとともに、学びが結果に結びつく授業を工夫します。
 - 5 学校自己評価 → 生徒一人ひとりの個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指します。
- ※なお、この集計結果は、学校運営委員やPTA三役の皆様にもお示しし、更に「学校関係者評価」としてご意見や提言をいただいたものをまとめ、設置者である 上田市教育委員会にも報告し、学校ホームページでも公開します。

学校生活に関するアンケート集計(生徒)

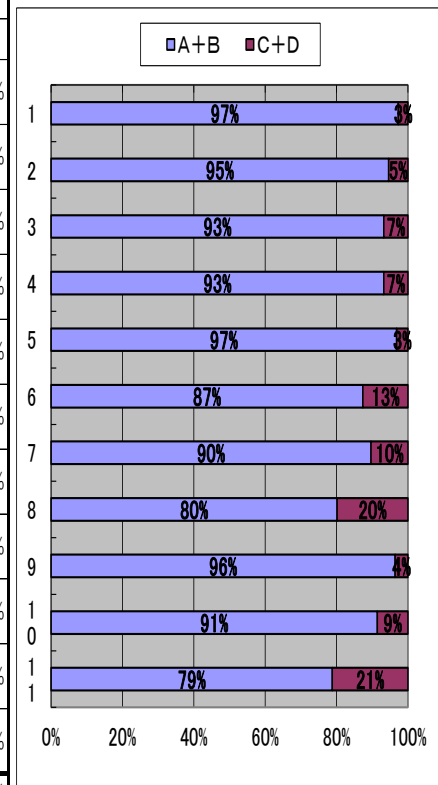
評価項目		評価				評価			割合		昨年度前期					
		①	②	③	④	①+②	③+④	合計	①+②	③+④	①+②	③+④				
学習自己評価	1	授業開始2分前に着席し、授業の準備をしている。				247	124	7	0	371	7	378	98%	2%	97%	3%
	2	授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートをとっていいに取ったりしている。				191	163	23	1	354	24	378	94%	6%	95%	5%
	3	宿題や提出ノートは毎日提出している。				169	138	59	12	307	71	378	81%	19%	81%	19%
授業評価	4	先生方は、チャイムとともに教室に来ている。				96	221	54	7	317	61	378	84%	16%	89%	11%
	5	先生方の授業はわかりやすい。				190	172	14	2	362	16	378	96%	4%	96%	4%
	6	授業では、自分の考えなどを書く場面がある。				183	172	22	1	355	23	378	94%	6%	91%	9%
	7	授業では、友達と考えを話し合う場面がある。				172	173	31	2	345	33	378	91%	9%	92%	8%
生活自己評価	8	学校での生活は楽しい。				217	125	28	8	342	36	378	90%	10%	90%	10%
	9	さわやかなあいさつができています。				201	142	32	3	343	35	378	91%	9%	89%	11%
	10	時間を守った生活ができています。				212	146	18	2	358	20	378	95%	5%	95%	5%
	11	友達の気持ちを考えた行動をしている。				199	162	13	4	361	17	378	96%	4%	96%	4%
	12	服装を整え、生活の決まりを守って生活している。				304	71	3	0	375	3	378	99%	1%	99%	1%
	13	無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。				275	97	6	0	372	6	378	98%	2%	99%	1%
	14	生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。				216	146	15	1	362	16	378	96%	4%	93%	7%
生活評価	15	部活動(またはそれにかかわるもの)に意欲的に取り組んでいる。				275	67	9	27	342	36	378	90%	10%	91%	9%
	16	悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。				162	140	52	24	302	76	378	80%	20%	84%	16%
	17	先生方は、生活の3重点を意識して生活している。				180	164	28	6	344	34	378	91%	9%	94%	6%
	18	学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。				206	145	24	3	351	27	378	93%	7%	92%	8%
								平均	348	30	平均	92%	8%	92%	8%	



- 「学習・授業への取り組み」（項目１～７）の評価結果を見ますと、昨年度前期の割合と比較して多くの項目ではA+Bの割合に大きな変動がなく、本校生徒の学習への取り組み方の良さがうかがえます。しかし、項目４ではA+Bの割合が減っています。生徒と共に教員が授業開始時刻をさらに大切にしていきます。
- 「学校生活に関する自己評価」（項目８～15）では、昨年度とは同程度です。あいさつは、向上している生徒が多いことがわかります。項目１４では、生徒会への主体的活動が大きく向上しています。
- 項目１６・１７では、昨年度と比較してやや評価が下がっています。テスト前に「教育相談」を設けるなど、相談機会を設けていますが、「多くの生徒に一声かける」を意識したり、生活の３重点も教員自らが取り組んだりし、生徒に寄り添った気持ちと行動を高めます。

教育に関するアンケート集計（保護者）

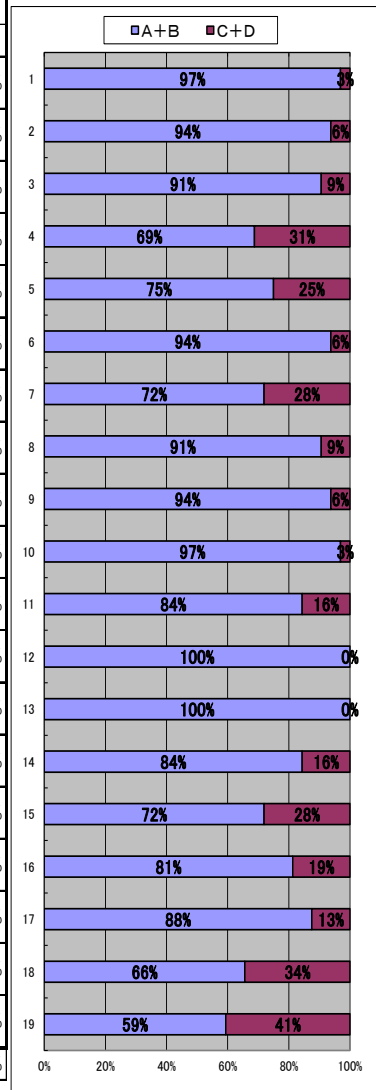
項 目	評 価					割 合		昨年度前期	
	A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。 （学校だより、学校要覧、講話など）	103	113	5	1	222	97%	3%	94%	6%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	83	127	10	2	222	95%	5%	95%	5%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	84	123	14	1	222	93%	7%	91%	9%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	110	97	11	4	222	93%	7%	90%	10%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	128	87	7	0	222	97%	3%	95%	5%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	102	92	23	5	222	87%	13%	83%	17%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。（学校や地域で）	80	119	22	1	222	90%	10%	85%	15%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	57	121	37	7	222	80%	20%	74%	26%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	138	76	6	2	222	96%	4%	96%	4%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	143	28	4	12	187	91%	9%	93%	7%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	42	133	43	4	222	79%	21%	76%	24%
平均					219	91%	9%	88%	12%



- 全般的に、向上が見られています。引き続き、保護者との信頼関係を大切にして、家庭とともに生徒を向上させていきたいと願っています。
- 学校からの情報発信（項目１、５）については、昨年度に引き続き、A+Bの割合が９０％以上と高い割合です。今後も学校生活の様子や学校運営の願いなど、ホームページを活用した『学校だより』等を通じて発信します。
- 項目２については、９０％は超えているものの、あと１００％までの５％を大切に考えていきます。生徒の悩みや相談に対応するとともに、生徒間のトラブルに際しては、十分に聞き取りを行った上で、家庭と情報を共有し、継続した支援を心がけます。また、担任だけでなく、学年職員、教科担任をはじめ、全職員が足並みをそろえ、生徒の指導と支援にあたります。
- 学校の取り組みとして力を入れている「あいさつ」について、昨年度と比較し、本年度は５％向上しました。「あいさつ」は社会に出た時にも大切な、最も基本的なコミュニケーションであると考えています。より一層さわやかなあいさつが定着するように、生徒会や学年の活動の一つとして大切にするとともに、教師も共にさわやかなあいさつを心掛けます。ご家庭でもご協力をお願いします。
- 項目１１は、昨年度と比べて３％上昇したものの、７０％台と他の項目と比べて低くなっています。授業の根本の問題としてとらえ、教員の研鑽を積むと共に、生徒への支援により一層力を入れます。

教育に関するアンケート集計（教職員）

領域	具体的方策	評価					評価		割合		昨年度前期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教 育 活 動	1 1時間ごとの授業や単元でのつける力の明確化。	10	21	1	0	32	31	1	97%	3%	81%	19%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	7	23	2	0	32	30	2	94%	6%	81%	19%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	10	19	3	0	32	29	3	91%	9%	85%	15%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	6	16	9	1	32	22	10	69%	31%	69%	31%
	5 自分の姿を追求するための体験を通じた授業	6	18	6	2	32	24	8	75%	25%	77%	23%
	6 五人権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	11	19	2	0	32	30	2	94%	6%	88%	12%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	6	17	9	0	32	23	9	72%	28%	77%	23%
	8 意見を言い合える場の設定	8	21	3	0	32	29	3	91%	9%	88%	12%
	9 朝の読書、読書旬間中の一斉読書の推進	18	12	2	0	32	30	2	94%	6%	85%	15%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	11	20	1	0	32	31	1	97%	3%	92%	8%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	11	16	5	0	32	27	5	84%	16%	81%	19%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	16	16	0	0	32	32	0	100%	0%	100%	0%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導（よ〜く観る、よ〜く聴く）	15	17	0	0	32	32	0	100%	0%	100%	0%
学 校 運 営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	7	20	5	0	32	27	5	84%	16%	88%	12%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	6	17	8	1	32	23	9	72%	28%	54%	46%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	8	18	6	0	32	26	6	81%	19%	62%	38%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	5	23	4	0	32	28	4	88%	13%	85%	15%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	2	19	11	0	32	21	11	66%	34%	69%	31%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	2	17	11	2	32	19	13	59%	41%	62%	38%
		平均					27	5	85%	15%	80%	20%



- 本校において大切に考えている「生徒が安心して学習、学校生活に取り組めるための規範意識の醸成」「生徒が困難に陥ったときの素早い対応」、また、「カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導」について全職員が心掛け、実践しています。今後も引き続き継続します。
- 学習指導においては、全般的に改善が見られました。とはいえ、さらに、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向け、授業の中で生徒同士が意見・思いを伝え合い、相互に高め合う対話的な活動をさらに大事にします。読書活動（項目9）については「豊かな語彙と感性を身につけ、すべての学習の基礎となる力を得られるもの」として、より充実していきます。
- 項目5「体験型授業」については、生徒たちが生き生きとした学習を展開するうえでも実践できるよう、教育課程を工夫します。
- 項目18・19については、教職員の多忙化の影響（校舎建て替えによる行事等の企画などの事情による）でなかなか互いに研修し合うことができませんが、校内研修については、昨年度に比べて多く企画し、生徒への理解の研修などを実施しています。

学校評価アンケートでは、『学校への要望』等の記述欄に貴重なご意見を多数いただきました。本当にありがとうございました。内容を教務会や職員会でしっかりと検討しています。

今後とも、第五中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いするとともに、些細なことでも学校にご意見やご連絡をよろしくお願いいたします。

人権同和教育月間に寄せて（10/23～11/22）

体調を崩したとき、怪我をしたとき、困ったとき、元気がないときに、「お大事に」「気をつけて」「無理しないでね」などの優しい言葉や励ましの言葉をかけてくれる人、そっと手を貸してくれる人がたくさんいます。とっても嬉しく、励みになり、頑張ろうと元気づけられます。人を思いやる、人を愛する心をもった人に囲まれながら生活できることに幸せを感じ、「あたたかい五中」だなあって思います。

令和6年度 全国学力・学習状況調査(3年生)の結果について

今年度の全国学力・学習状況調査の本校の結果と今後の指導についてお知らせします。

(1) 全体的な傾向

教科	結果
国語	全国及び長野県の平均正答率を下回る結果でした。学習指導要領の内容に照らし合わせた区分から見ても、すべての項目で下回る結果でした。領域別では、「読むこと」「話すこと・聞くこと」の正答率が顕著に低かったです。特に、記述式の問題形式での正答率が低く、無解答の割合もかなり高くなっていました。内容を読み取ったりまとめたりして、それを書いて答えることを、最初から諦めてしまっている傾向も感じました。内容読解力の不足から連動して「書く」分野に関する力不足も大きな課題です。また、選択式の問題でも、「話すこと・聞くこと」の分野での正答率が低く、対話的な題材の学習の経験値の低さを感じました。
数学	全国及び長野県の平均正答率を下回る結果でした。正答数分布グラフでは、得点上位者がたいへん少なく、得点力の低い生徒が多い分布になっていました。領域別でも、全ての領域で全国に対して下回っていました。観点別では、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに全国に対して下回っていました。特にできなかった問題は、「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題」「筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題」等でした。全国正答率を上回った問題は、「グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題」でした。

(2) 調査結果をふまえ、これからの指導に生かすために

本校の生徒は、与えられた課題にまじめに取り組むことができます。しかし、身につけた知識や技能を実生活と結び付けて場面や目的に応じて活用したり、自ら課題を見出して考えを深めながら追究したりする姿勢がやや弱いと感じています。

今回の調査結果を受け、国語科では、漢字練習や文法の復習など言葉に関わる学習を通して、引き続き使える語彙を増やしていきます。また、記述の仕方を身につける活動をふまえ、作文指導を進めていきます。その際、明確な目的や課題を意識したものにしていきます。そして、論説文教材などを通して、要約する活動や筆者の主張に対する自分の考えをもつ活動を多く取り入れていきます。

数学科では、昨年度のNRTの結果では「関数」領域が全国正答率を大きく下回っていましたが、今回は、4領域の中で「関数」領域が最も全国平均正答率に近いという結果が得られました。日頃の授業の中で丁寧に積み重ねてきたことも一因であると感じています。それでも、全国平均正答率を下回っていますので、引き続き学力の定着を図っていきます。また、「説明・証明」の問題における無回答率の高さも読み取れるので、日頃の授業から思考力・判断力・表現力を高めていけるような学習の場面を設定していきます。

また、どの教科においても、基礎的な知識や技能の定着を図るドリル活動も行っています。このような取り組みを継続しながら、生徒が個々に疑問をもち、ICT等を活用しながら主体的に追究を進める中で、ペアやグループ、全体での意見交流を通して課題解決に向けて追究していけるような場面を多く設定していきます。「生徒が考えながら学ぶ、生徒が動きながら学ぶ」ための支援を行い、本校の課題である「思考力・判断力・表現力」を更に伸ばしていきます。